

F★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

# SUPER

防食性

万能  
幅広い下地・上塗適性

環境対応  
弱溶剤・鉛クロムフリー

特化則対応品

# SAURUS II

弱溶剤可溶変性エポキシ樹脂系万能下塗塗料

## スーパーザウルスII

JASS 18 M-109 適合品

適用素材

鉄・ステンレス・亜鉛メッキ(ガルバリウム鋼板、溶融亜鉛メッキ鋼板、電気亜鉛メッキ鋼板 など)  
アルミニウム・コンクリート・押出成形板 など

 **KANSAI  
PAINT**

弱溶剤可溶変性エポキシ樹脂系万能下塗塗料

# スーパーザウルスII

荷姿

[4kgセット] ベース: 3.6kg 硬化剤: 0.4kg(グレー・白のみ)

[16kgセット] ベース: 14.4kg 硬化剤: 1.6kg

「スーパーザウルスII」は、優れた防食性、幅広い下地適性、上塗適性を有しながら鉛化合物など有害物質を含まない、人と環境に優しいオールマイティプライマーです。

## 優れた防食性能

構造物さび止めペイント(JIS K 5551 A種)と同等レベルの防錆力を示します。

塩水噴霧試験480時間

スーパーザウルスII

上塗2液ウレタン



スーパーザウルスII

他社品

上塗2液ウレタン



他社弱溶剤系2液エポキシさび止め

## 幅広い上塗適性

弱溶剤塗料(1液・2液)、水性塗料、屋根用塗料の各種上塗塗料に対応可能です。

## 優れた環境性能

弱溶剤タイプで臭気が更にマイルドになり、トルエン、鉛化合物などの有害物質を配合しない、人と環境にやさしい塗料です。

## 特定化学物質障害予防規則(特化則)対応品

特定化学物質であるエチルベンゼンの含有量が1%未満であるため、特化則の規制を受けません。

## 抜群の作業性

ハケ・ローラーの作業性に優れ、速乾性で作業効率が高く、温度条件によりその日のうちに上塗塗装が可能です。

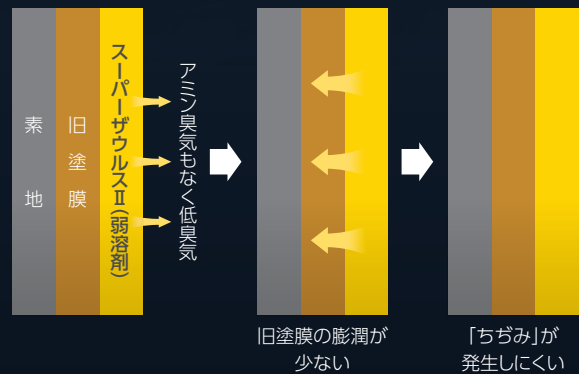
## 幅広い下地適性

亜鉛メッキ、アルミニウムやコンクリートなどの各種素材に対して優れた付着性を発揮するとともに、各種旧塗膜との密着性に優れます。

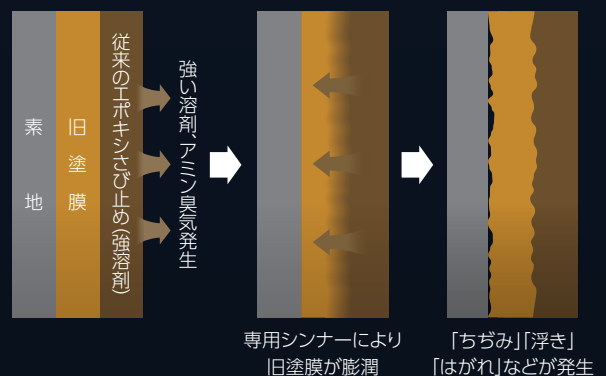
### 旧塗膜のリフティング防止

弱溶剤タイプなので臭気が少なく、「ちぢみ」や「はがれ」が発生しにくい。

#### スーパーザウルスII

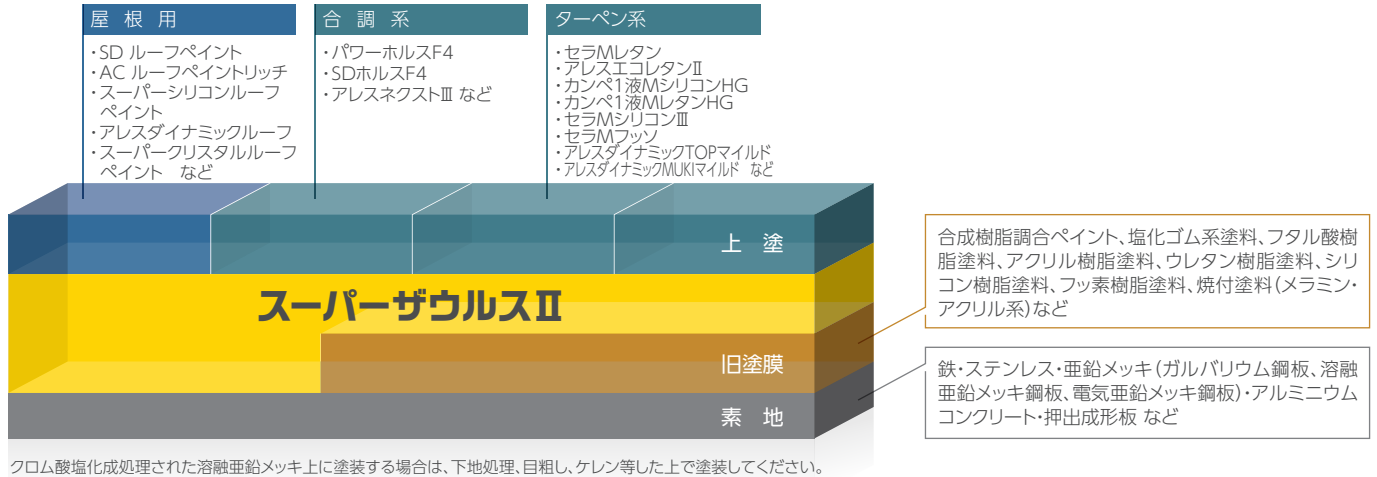


#### 従来の強溶剤系エポキシさび止め



## 下地適性と上塗塗料との適合性

幅広い下地適性、上塗適性を有するオールマイティプライマーです。



クロム酸塩化成処理された溶融亜鉛メッキ上に塗装する場合は、下地処理、目直し、ケレン等した上で塗装してください。

## 亜鉛メッキ適性

「スーパーザウルスⅡ」は、亜鉛メッキ面に対して抜群の付着性を発揮します。(当社強溶剤亜鉛メッキ用エポキシさび止めと同水準)

下塗	上塗	付着強度 (kg/m <sup>2</sup> ) *1	引張付着試験後の剥離・破断箇所 *2
スーパーザウルスⅡ (1回塗り)	2液ウレタン (2回塗り)	8.5	塗膜層内 90%
当社強溶剤亜鉛メッキ用エポキシさび止め (2回塗り)	2液ウレタン (2回塗り)	5.0	塗膜層内 90%
他社弱溶剤2液エポキシさび止め (1回塗り)	2液ウレタン (2回塗り)	3.0	素材と下塗間 100%

### 【試験内容】

新品溶融亜鉛メッキHDZ55(クロム酸処理済み)を研磨後キシレンでワイピングしたテストピースを使用して塗膜耐久性試験50サイクル(-30℃×3H~3H~70℃×3H~)実施後に引張付着試験(アドヒージョンテスター)を実施。

### 【試験結果】

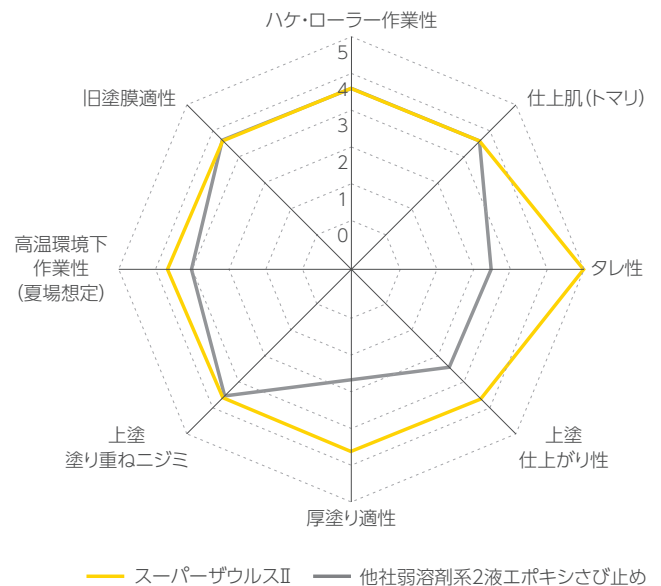
- \*1: 塗膜を引っ張って剥離させた時の塗膜強度は「スーパーザウルスⅡ」が最も高い値を示した。
- \*2: 引張試験では、最も弱い箇所での剥離する。「スーパーザウルスⅡ」は素材から剥離する率が低く、亜鉛メッキとの高い付着力を有していることがわかる。

## 各種下塗塗料比較

項目	スーパーザウルスⅡ	従来エポキシ樹脂シーラー	従来エポキシ樹脂さび止め	鉛・クロムフリーさび止め
適合規格	JASS 18 M-109	JASS 18 M-201	JIS K 5551 A種	JIS K 5674 1種
希釈溶剤	弱溶剤	強溶剤	強溶剤	弱溶剤
作業性	最短塗装間隔 (23℃)	4時間	24時間	16時間
	ポットライフ (23℃)	7時間	5時間	8時間
素材適性	鉄	◎	×	◎
	亜鉛メッキ	◎	×	○
	アルミニウム	◎	×	○
	ステンレス	◎	×	◎
	コンクリート	◎	◎	○
	押出成形板	◎	◎	○
上塗適性	合成樹脂調合ペイント	◎	×	△注)
	ウレタン樹脂塗料	強溶剤形以外	◎	◎
	アクリルシリコン樹脂塗料		◎	◎
	ふっ素樹脂塗料		◎	◎
付着性	◎	◎	◎	○
耐アルカリ性	◎	◎	◎	—
耐揮発油性	◎	◎	◎	—
耐衝撃性	◎	◎	◎	—
防食性	◎	—	◎	—
耐塩水噴霧試験240H	◎	—	◎	—

注) 環境条件などにより層間剥離することがあります。

## 作業性・仕上がり比較



## 色相



\*この色見本は印刷ですので、実際の色・艶と多少異なります。

標準塗装仕様

■ コンクリート・モルタル・押出成形板面(平滑仕上げ) **新設**

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚(μ回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(重量%)
素地調整	エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。(pH10以下、含水率8%以下)						
下 塗	スーパーザウルスII(ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA	1	0.14	-	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	0~10
			0.17			エアレス	
中 塗	セラMシリコンⅢ中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	-	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	5~15
			0.14			エアレス	10~30
上 塗	セラMシリコンⅢ(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	-	-	ハケ、ローラー	0~10
			0.14			エアレス	5~10

■ 亜鉛めっき・アルミ・ステンレス面

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚(μ回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(重量%)
素地調整	全面清掃、脱脂、目荒しを行い、被塗面を清浄にする。白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。						
下 塗	スーパーザウルスII(ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA	1	0.14	35	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	0~10
			0.17			エアレス	
中 塗	セラMシリコンⅢ中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	25	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	5~15
			0.14			エアレス	10~30
上 塗	セラMシリコンⅢ(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	25	-	ハケ、ローラー	0~10
			0.14			エアレス	5~10

■ 一般鉄部 **新設**

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚(μ回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(重量%)
素地調整	劣化した黒皮やさびは、電動工具等で除去し、全面清掃、脱脂、目荒しを行い、被塗面を清浄にする。						
下 塗	スーパーザウルスII(ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA	2	0.14	35	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	0~10
			0.17			エアレス	
中 塗	セラMシリコンⅢ中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	25	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	5~15
			0.14			エアレス	10~30
上 塗	セラMシリコンⅢ(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	25	-	ハケ、ローラー	0~10
			0.14			エアレス	5~10

■ 一般鉄部 **塗替**

工程	塗料名・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚(μ回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(重量%)
素地調整	電動工具・手工具等で、さびや劣化した旧塗膜を入念に除去する。活膜は目荒しを行い、清浄な面とする。(3種ケレン) 素地露出部はスーパーザウルスIIで補修塗りを行う。						
下 塗	スーパーザウルスII(ベース/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA	1	0.14	35	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	0~10
			0.17			エアレス	
中 塗	セラMシリコンⅢ中塗(ベース/硬化剤=10/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	25	4時間以上 7日以内	ハケ、ローラー	5~15
			0.14			エアレス	10~30
上 塗	セラMシリコンⅢ(ベース/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	1	0.12	25	-	ハケ、ローラー	0~10
			0.14			エアレス	5~10

施工上の注意事項

- 上塗塗料には「セラMシリコンⅢ」の他、各種上塗塗料が使用できます。前頁の「下地適性と上塗塗料の適合性」および各カタログをご参照ください。
- 低温の環境下では乾燥が遅くなりますので、上塗との塗装間隔を充分空けてください。
- 標準所要量、膜厚は被塗物の素地や形状、塗装方法などにより増減することがあります。
- スーパーザウルスIIは、乾燥過程で水(降雨、結露等)の影響を受けると白化することがあります。白化した場合は軽く表面を研磨するなどの処置をしてから次の工程に移ってください。
- 上塗に強溶剤系塗料を使用する場合には営業にお問合せください。

- ③ 塗装用具及び洗浄  
ハケ・ローラー・エアレスで塗装できます。使用後塗装用具の洗浄には、ラッカーシンナー又はエポキシシンナーをご使用ください。
  - ④ ボットライフ  
ベースと硬化剤を混合してから使用できる時間の目安です。
- |  | 5℃   | 23℃ | 30℃ |
|--|------|-----|-----|
|  | 12時間 | 7時間 | 5時間 |

⑤ 乾燥時間・塗装間隔

湿度		5℃	23℃	30℃
乾燥時間	指 触	4時間	1.5時間	30分
	半硬化	16時間	3時間	2時間
標準塗装間隔	最 短	24時間	4時間	3時間
	最 長	7日	7日	7日

施工上のポイント

- ① 塗料の混合割合  
スーパーザウルスIIは2液形塗料です。ベースと硬化剤は、9(ベース):1(硬化剤)の割合で混合してからご使用ください。
- ② 希釈剤  
塗料用シンナーAを規定の割合で希釈して使用してください。

ご使用上の注意事項

スーパーザウルスIIは第2石油類の危険物に該当し、第3種有機溶剤を使用しています。一般に第3種有機溶剤を使用した塗料には有毒性があり、作業環境と取扱い方法が義務づけられています。

安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守ってください。下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。
- 又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 火気避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火花を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 火災又は高温の白熱体に曝露しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
- 例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は  
こちらから!

各種カタログご覧になれます。

\*本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(23年10月16日PKO) カタログNo.766